

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスえん		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちが事業所に来る事を楽しみにしている。	保護者の方のレスパイトケアや、安心して働いていただくには、まず子供たちがデイサービスに通ってもらわないといけません。勉強で頑張るばかりでは、子供たちも息がつかまります。楽しい時間を提供しつつ、少しでも成長出来る環境を意識している。	楽しみながら、もっと子供たちの生活の質の向上を図りたい。
2	パソコンを多く所有している。	パソコンで、タイピング練習をしたり文章作成したり、分からない事を調べたりしている。自由時間にも使ってもらっているため、パソコンへの抵抗感が無くなり、将来仕事でパソコンを使えるようになる事を目標にしている。	もう少しパソコン学習の幅を広げていきたい。
3	社会性・協調性を高める話し合いの場を設けている。	定期的子供たちと、社会のルール・集団生活でのマナー・交通ルールなどを支援者が伝えたり、子供達に考えてもらったりする時間を設ける事で、社会に出た時に「孤立しない」「困らない」事を目標にしている。	チャンスがあれば、外部の方に来てもらい、子供たちに話を聞いてもらえる機会をつくりたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方や相談員の方に、えんの良さを理解してもらう機会が少なすぎた。	子供たちに楽しんでもらっているし、支援者の方々も精一杯支援しています。良さが伝わらないのは、児童発達支援管理責任者と会社のアピール不足だと思う。	事業所の良さを、外部の方や保護者の方に伝える手段を考えていく。もちろん支援の仕方のニーズもリサーチし検討したのち取り入れられるものは、どんどん取り入れていきたい。
2	事業所に運動スペースがあまりない。	運動スペースがあまりない。公園も近年は花粉・黄砂などの問題も多く活用しづらい。そのため事業所内で、健康体操などスペースがなくても出来る運動を行っている。	時には、体育館などの運動施設、レンタルスペースを活用して子供たちが、のびのびと体を動かす機会をつくりたい。
3	近年、中・高生が多かった為、おもちゃが少ない。	低学年の子はトランポリン、塗り絵、ぬいぐるみや絵本などで遊んでもらっていた。	新年度に入ると小学生が増える事もあり、支援に効果的なおもちゃを購入していきたい。